

株主のみなさまへ

…………… Vol.47

株主通信 第112期第2四半期

2018年1月1日～2018年6月30日



SHIMANO

表紙:西表島での釣り風景

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過および成果

当第2四半期におきましては、欧州では、トランプ政権の通商政策をめぐる立場の違いが明確になるに伴い、投資に対する企業マインドは慎重となりました。しかし、個人消費等の内需が総じて拡大基調を維持したことから、全体として緩やかな景気拡大が続きました。米国では、企業業績が堅調に推移し、底堅い労働市場を背景とした個人消費が増加したことから、景気は順調に拡大しました。国内では、景気回復に一服感があったものの、個人消費が上向き、景気全体で緩やかな回復傾向がみられました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は174,731百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は34,512

百万円（前年同期比11.9%増）、経常利益は38,350百万円（前年同期比42.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27,718百万円（前年同期比48.0%増）となりました。

自転車部品

欧州市場では、4月以降の安定した天候と引き続き堅調なE-BIKE（電動アシストバイク）の完成車の店頭販売に牽引され、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は例年並みで推移し、市場在庫についても適正な水準を保ちました。

中国市場では、完成車の店頭販売に回復の兆しが見えず、中低価格帯を中心に低調な販売が続いたものの、市場在庫は適正に推移しました。一方、昨年都市部で大きな広がりを見せたシェアバイクは調整期を迎えました。

他の新興国市場では、東南アジア市場全体では依然として力強さを欠き、南米市場ではブラジル・アルゼンチンで通貨安の影響から消費に陰りが出てきました。ともに市場在庫は適正水準を保ちました。

日本市場では、年始来振るわなかったスポーツタイプ自転車及び軽快車の完成車の店頭販売は弱含みのまま推移しました。4月以降は販売に好転の兆しが見えましたが、市場在庫は適正な範囲であるもののやや高めで推移しました。

このような市況のもと、電動アシストマウンテンバイク用ドライブユニット「SHIMANO STEPS」E8000シリーズは引き続き好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は137,918百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は29,506百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

釣具

日本市場では、小売店の初売りは好調であったものの、以降の販売は寒波・大雪とゴールデンウィーク後半の天候不順の影響もあり停滞しました。海外市場において、北米市場では、拡大基調の景気に支えられ販売は好調に推移しました。欧州市場

では、年始来寒波等の影響から春先における販売は例年よりも活況を欠き、主要市場のイギリス等で流通在庫が増加しました。アジア市場では、中国・韓国・東南アジア各国市場においてスポーツフィッシングの高まりから販売は引き続き好調に推移しました。豪州市場では、3月のサイクロン後は天候が安定したことから市場は活況となり、販売は堅調さを取り戻しました。

このような市況のもと、日本では最高級スピニングリール「STELLA」や「Bantam」をはじめとしたルアー関連の新製品に対して高い評価をいただいたことにより、売上は前年を上回りました。海外でも、北米をはじめ欧州、アジア及び豪州市場共に売上が前年を上回る好調な結果となりました。

この結果、当セグメントの売上高は36,631百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は5,069百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は181百万円（前年同期比8.6%減）、営業損失は64百万円（前年同期は営業損失63百万円）となりました。

中間配当のご報告

当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭（うち特別配当71円25銭）とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円を予定しております。

今後の見通し

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結会計期間においてドル高の進行に伴い相対的にアジア通貨安となったことから営業外収益が発生、また火災による特別損失を計上したことを踏まえ、下表のとおり変更いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年9月

平成30年12月期 通期連結業績予想数値の変更（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)	経常利益 (単位：百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (単位：百万円)	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想 (A)	350,000	67,000	65,500	46,000	496.21
今回修正予想 (B)	350,000	67,000	70,900	49,300	531.81
増減額 (B)-(A)	—	—	5,400	3,300	
増減率 (%)	—	—	8.2	7.2	
前期実績 (平成29年12月期)	335,800	64,351	55,748	38,443	414.69

ヨーロッパ全土の自転車部品・釣具の営業拠点をまとめるShimano Europe B.V. (SEU) をご紹介します。SEUは、ヨーロッパ全体の自転車文化・釣文化の創造に寄与し、シマノが今後永きにわたり愛されるブランドであることを目指します。



SEUは、シマノの営業拠点のある地域だけでなく、ヨーロッパ全土の販売事業についてカバーするとともに、管理部門としての機能も兼ね備えています。自転車部品・釣具事業の管理部門の統合により、より効率的で、実効的な経営の実現を目指すことができました。

SEUは、当社の主要市場であるヨーロッパにおいて、マーケットやお客様に対して「シマノ」の製品や想いを正しく伝えると同時に、市場から得られた生の声を速く正確に日本の本社に報告し、市場に反映することで、シマノが永きにわたり愛されるブランドであることを目指します。



展示スペース



受付



待合室

SEUに至るまでの歴史

1972年

Shimano (Europe) Gmbh.を自転車部品の営業拠点として当時の西ドイツのデュッセルドルフに設立

1985年

大幅な業務の拡張を行うためShimano (Europe) Gmbh.の社屋をデュッセルドルフ南隣のヒルデンに移転

1989年

オランダに釣具の営業を担うUltegra Netherland B.V. (後にShimano Europe Fishing Holding B.V.) を設立

1997年

ヨーロッパの各グループ会社をとりまとめるためのShimano Europe Holding B.V.をオランダのヌンスペートに設立

2008年

ヨーロッパの自転車部品事業ビジネスを統括するためShimano Europe Bike Holding B.V.をヌンスペートに設立

2017年

より国際的な競争力のある環境を求めてShimano Europe Holding B.V.の本社をオランダのアイントハーフェンに設立し移転

2018年

Shimano Europe Holding B.V.がShimano Europe Fishing Holding B.V.、Shimano Europe B.V. (旧Shimano Europe Bike Holding B.V.) 及びBikefitting.com B.V.を吸収合併し、Shimano Europe B.V.に商号を変更



設立当初はビルの一角にオフィスがあった



当時のヒルデン社屋



ヌンスペートの社屋、現在は物流等の役割を担う



新社屋



アイントハーフェンについて

アイントハーフェンは、オランダ南部を代表する工業都市で、オランダでも有数の人口を擁し、世界的に有名なメーカーも進出しています。また、SEUのある地域は、スポーツや先端技術、デザイン分野の企業や研究所の集積地として急速に発展してきた場所です。このように、アイントハーフェンは、多才な人材が多く集まる国際的な都市です。このような地域にヨーロッパ統括拠点となるSEUを構えることで、シマノは、世界に通じる人材へのアクセスが容易になりました。益々競争が激化する中で、多才で国際的な人材を獲得し、経営を強化してまいります。

最高峰のマウンテンバイクコンポーネンツ XTRの第7世代シリーズがデビュー

XTR



マウンテンバイク（MTB）用のコンポーネンツである初代XTRが1992年にM900シリーズとして市場にリリースされて以来、得られた研究開発の成果を全て注ぎ込み、今回、新しいM9100シリーズのデビューを迎えることができました。

7代目XTRの開発において原点に立ち戻り、従来製品の機能・デザイン・スペックのすべてを見直したうえで、全く新たなMTB専用コンポーネンツとして製品化することに成功しました。

クロスカントリー（アップダウンの激しいコースでタイムを競う）、エンデューロレース（設定された一定のタイム計測区間の合計タイムを競う）、マラソンレース（60km以上の長距離でクロスカントリーを行う）等「あらゆるジャンルのMTBレースで求められる機能を満たす」、「機能を邪魔することなくシマノの最新テクノロジーを最大限に表現し新しさを生む」という設計とデザインをコンセプトにしており、新しいXTR M9100シリーズは、あらゆるMTBレースに参加するライダーに対して最適なコンポーネンツです。

シマノは、これからもライダーの視点に立ち、更にイノベティブな製品をより高いレベルで提供してまいります。



滑らかな動きを実現したドライブトレイン

シフト中にもペダルをこぎ続けられる「HYPERGLIDE+」を装備したドライブトレインによるスムーズな変速、「I-SPEC EV」によるライディングに特化した柔軟で動きやすいコックピットを実現し、さらにライダーの集中力を高めるために生まれた新しいシフティングシステムによってより軽い力で動かせる素早いレバークセスを提供します。

また、クロスカントリーとエンデューロ・レーシングそれぞれに適した高性能のディスクブレーキシステムを装備することによって制動力の最適化を図ることができました。



完成車にXTRを組み込んだイメージ

サイクルドリームフェスタ2018

2018年5月5日、自転車の日に、東京・明治神宮外苑の聖徳記念絵画館前通りで開催されたサイクルドリームフェスタ2018にシマノはブースを出展しました。

今年で38年目を迎えるこのイベントは、様々な人たちに向けて自転車を楽しく安全に乗っていただくことを目的として、毎年5月の自転車月間に開催されています。

今回の試乗車はシマノの都市向けコンポーネントとして全世界で展開しているMETREA、Alfine DI2を装備した自転車、および子供向けとしてJr.Road/Jr.MTBを準備し、これから自転車をはじめたい方や親子連れの方を対象に自転車の楽しさを体感いただくことを目的に実施しました。

今回、このイベントには約11,000人の方が来場しました。今後もシマノは、自転車普及活動の一環として協力していきます。



『奇跡のベストバランス。サーフロッドの大いなる高みへ。』 NESSA LIMITED 登場

一概に釣りと言ってもさまざまな種類がありますが、最近、特に人気があるのがソルトウォーター（海のルアー釣り）というジャンルです。そのジャンルの中に砂浜から狙うサーフルアーフィッシングというものがあり、高級魚であるヒラメを主なターゲットとして楽しむ人が増えています。2018年下期、そんなサーフからのゲームをさらに楽しくする、3種のNESSA LIMITEDが誕生します。



シマノのサーフ用ロッドの最高峰として、手にした瞬間、キャストした瞬間、ルアーを操作した瞬間に感動を味わえる性能を追求しました。進化した基本構造スパイラルXコアと新形状のカーボンモノコックグリップの相乗効果により、高い強度を保持したまま、大幅な軽量化と高感度化を達成しました。重量バランスも徹底追求し、持ち重りが大きく低減しました。全ロッド、いずれも遠投性を重視した10フィート以上でありながら、9フィート台と錯覚するほどの軽量バランスを実現しています。

重めのルアーを全力で飛ばしても瞬時にブレが消える爽やかな使用感、そして波風や離岸流が強い状況下においてもルアーの動きを鮮明に伝える感度、加えて引き波に負けずに耐え抜き、一気にターゲットを引き上げるリフトパワーとサーフ用ロッドに求められるあらゆる性能を徹底的に磨き上げ、釣り人へ新たな感動と喜びを与えます。

インストラクターのことば

NESSA LIMITEDは、とても軽いです。ずっとキャストし続けるので、疲労感の軽減になります。

そして、キャスト後の穂先のブレが瞬時におさまリ、魚をかけてからの反発力も強くて魚が早く浮いてくるなどロッドに必要な剛性も備えていますね。

ロッドの感度も良く、100m以上飛んだルアーの着底もしっかりと手元を感じられますし、巻いているときベイトが当たっているのも感じとれます。

NESSA LIMITEDは、3本の違う性格のアイテムがラインアップされます。特殊な場合を除いて、この3本でほとんどのサーフの釣り、ヒラメ釣りは対応が可能です。

メタルドライブについて



サーフゲーム用の新型ルアーとして、メタルジグのような飛距離とワームのアピール力を併せ持つ「メタルドライブ」も登場します。

コンパクトな32gのメタルボディに新構造のアーチドライブシステム（キャスト時にワームがボディから離れ空気抵抗を減らす構造）を搭載しています。

これにより、ジグヘッドワームよりも飛距離がアップし、今までワームが届かなかったポイントにルアーを到達させることができ、砂浜からより広範囲に様々な魚を狙うことが可能になりました。

ドリームツアー

シマノは、『シマノ・釣りインストラクターと行く絶景ドリームツアー』を2015年から企画・実施しております。2名もしくは3名のお客様とシマノ・インストラクターとで、夢の釣行をしていただき、釣りの良さを伝えてもらうという企画です。

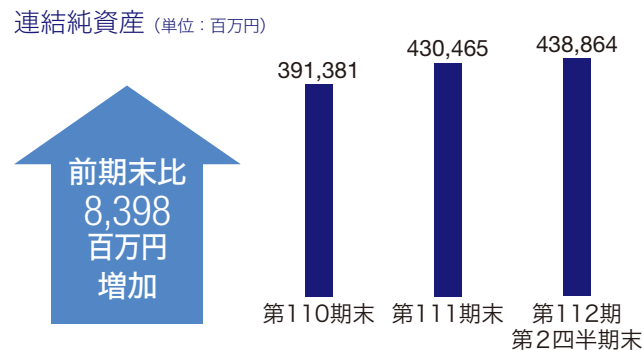
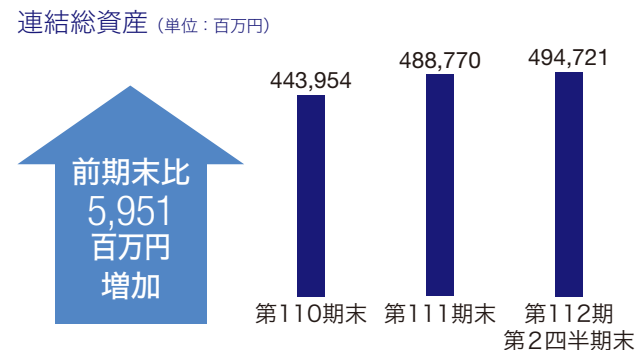
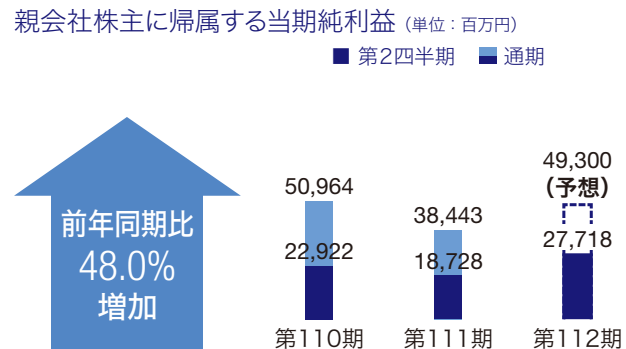
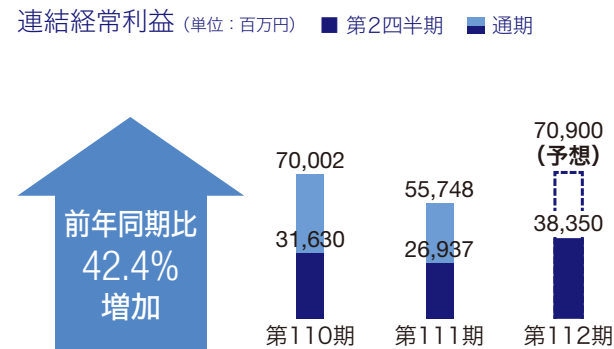
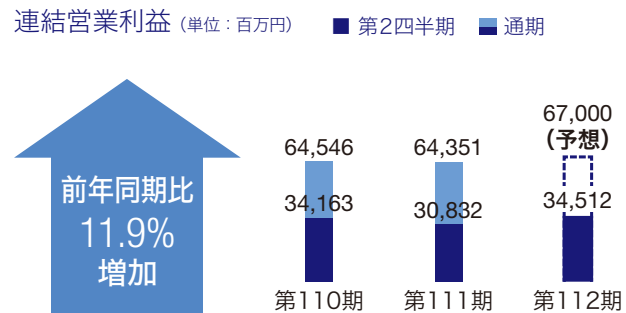
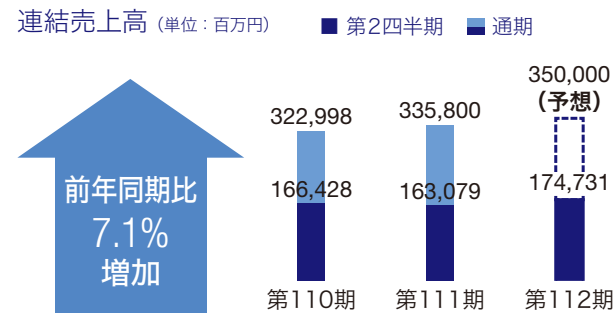
参加者にとっては、普段なかなか行けない憧れの釣り場へ行き、そこでインストラクターから名人の技を手取り足取り教えてもらえる夢のような釣行となります。

夢のような釣果を得て、多くの参加者にご満足いただきましたが、一方では運悪く釣果に恵まれなかった参加者もおられました。釣りは自然相手のレジャーであり、必ず大物が釣れるとは限りません。しかし、様々な自然条件を克服し、少しでも魚に近づく方法を楽しく体得するなど、釣りから得られるものは多々あります。

参加された皆様からは、『自分の知らない事がこんなにあった。最後の最後に釣れた1匹の感激は忘れません!』『こんな機会は一生の思い出になります!』など、シマノの釣りに対する想いである、【喜び・感動・夢】を実感したコメントを多数いただきました。

これからもシマノは、多くのお客様にご満足いただける企画を継続してまいります。

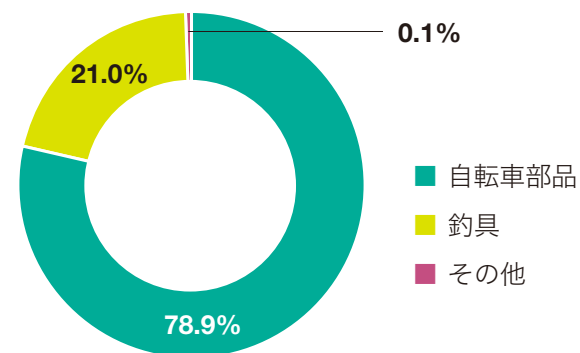




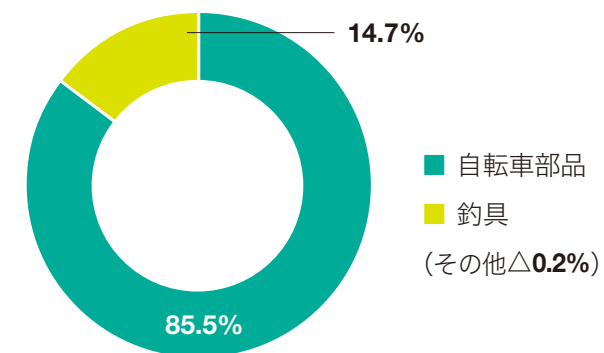
■ セグメント別の売上高と営業損益の状況

第112期第2四半期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	137,918	6.8%	29,506	9.0%
釣具	36,631	8.4%	5,069	32.3%
その他	181	△ 8.6%	△ 64	—%

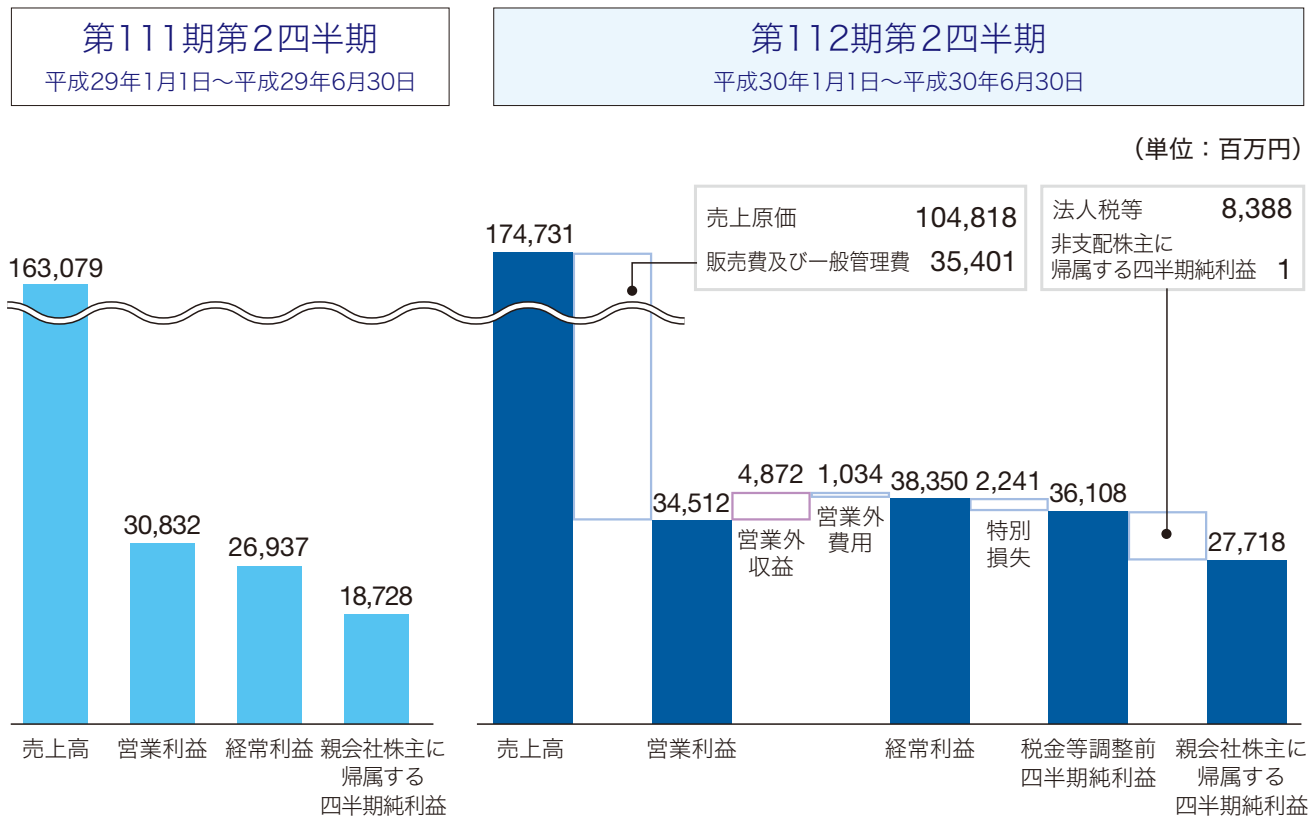
セグメント別の売上高比率(第112期第2四半期)



セグメント別の営業利益比率(第112期第2四半期)



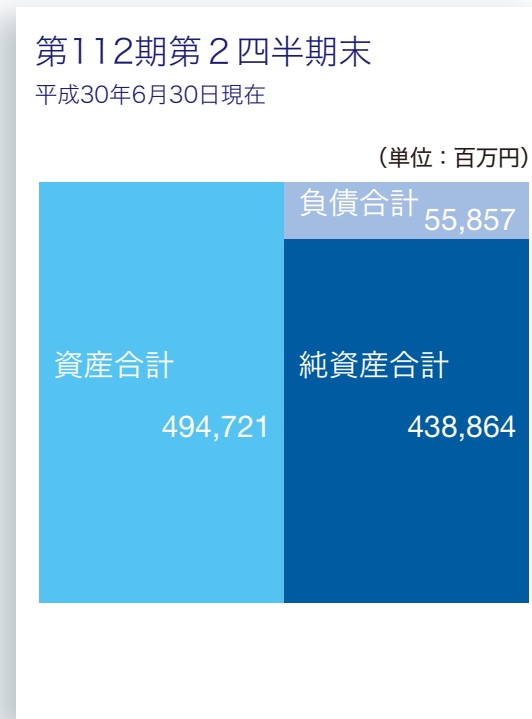
■ 連結損益計算書 (要約)



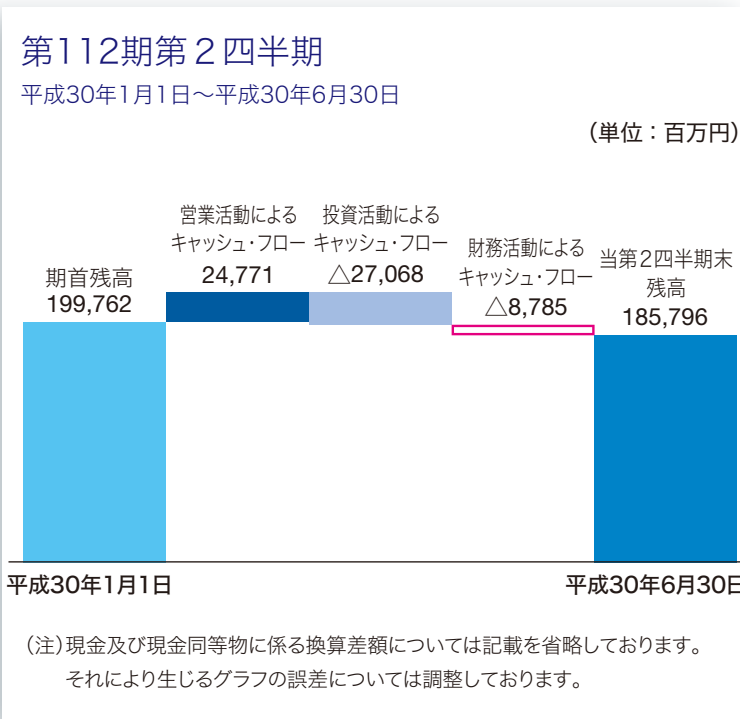
第112期予想(連結)

	業績予想		セグメント別売上高予想	
売上高	3,500 億円	前期比 4.2%増	自転車部品	2,825 億円 前期比 4.5%増
経常利益	709 億円	前期比 27.2%増	釣具	670 億円 前期比 2.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	493 億円	前期比 28.2%増	その他	5 億円 前期比 33.9%増

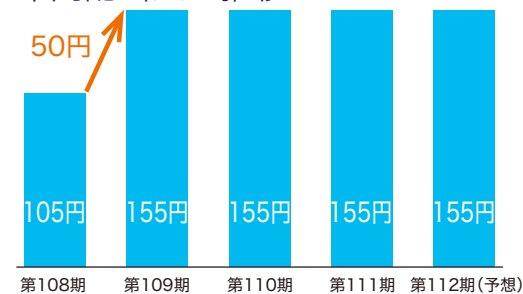
■ 連結貸借対照表 (要約)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



年間配当金の推移



第112期の第2四半期配当金は、前年同期と同様の1株当たり77円50銭(うち特別配当71円25銭)とし、年間配当予想額を前期と同様の1株当たり155円とする予定です。

株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、今後も安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行ってまいります。

会社概要 平成30年6月30日現在

社名 株式会社シマノ
 英文社名 SHIMANO INC.
 創業年月 大正10年(1921年)2月
 設立年月 昭和15年(1940年)1月
 資本金 35,613百万円
 事業内容 自転車部品、釣具、ロウイング
 関連用品等の製造販売
 本社 〒590-8577
 大阪府堺市堺区老松町
 3丁77番地
 URL <http://www.shimano.com>

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	松井 浩
代表取締役副社長	角谷 景司	取締役	大津 智弘
専務取締役	和田 伸司	取締役	大竹 正浩
常務取締役	湯浅 哲	取締役	清谷 欣司
常務取締役	平田 義弘	社外取締役	一條 和生
常務取締役	島野 泰三	社外取締役	勝丸 充啓
常務取締役	津崎 祥博	常勤監査役	島津 孝一
常務取締役	豊嶋 敬	常勤監査役	勝岡 秀夫
取締役	樽谷 潔	社外監査役	野末 佳奈子
取締役	チア チン セン	社外監査役	橋本 敏彦

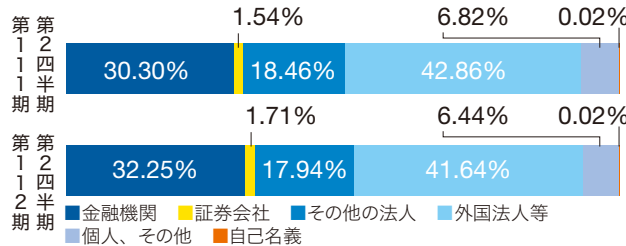
株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.shimano.com) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	電話照会先	☎0120-782-031
		ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		証券コード	7309

13 株式情報 平成30年6月30日現在

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 7,533名
- 単元株式数 100株

所有比率

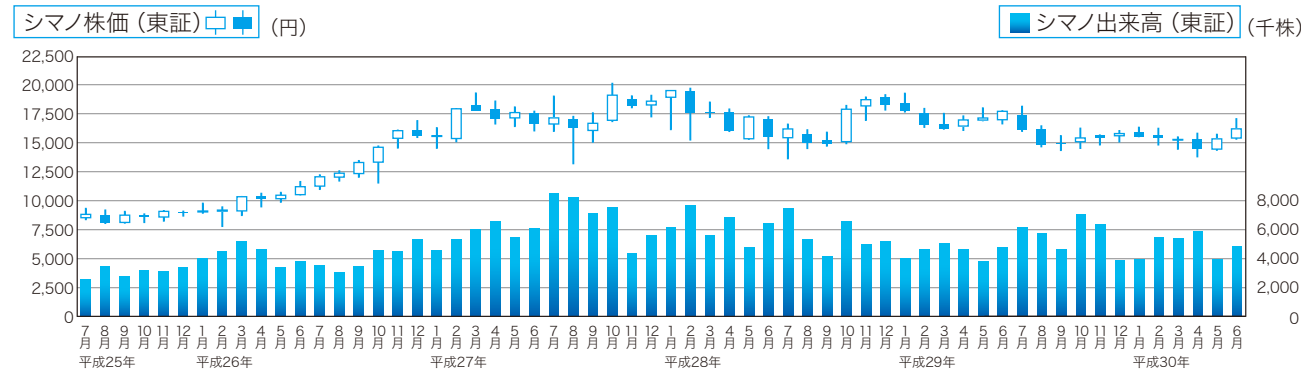
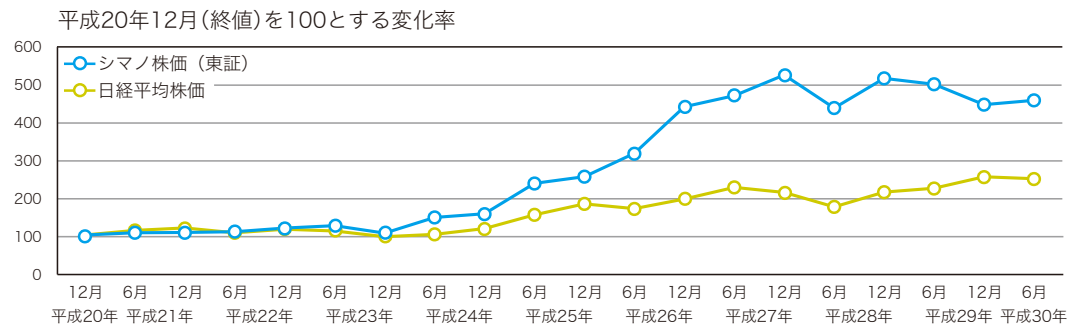


大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,665	8.27
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,895	5.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,742	5.12
太陽工業株式会社	4,060	4.38
JP MORGAN CHASE BANK 380072	2,812	3.03
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱UFJ銀行	2,066	2.23
株式会社りそな銀行	1,711	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,605	1.73

(注)持株比率は自己株式(17,627株)を控除して計算しております。

株価チャート



※平成25年7月16日に大阪証券取引所が東京証券取引所と合併したことに伴い、同年7月以降の売買高が増加しています。